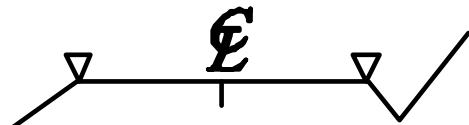
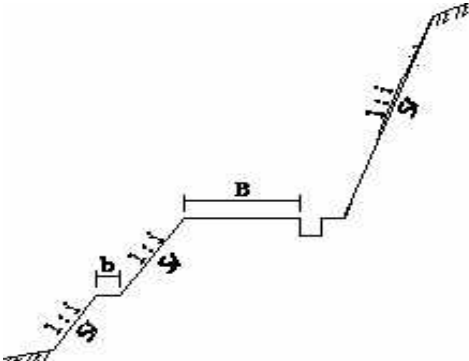
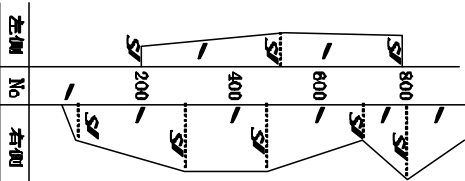
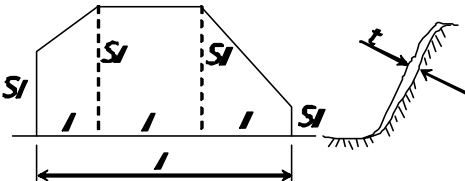
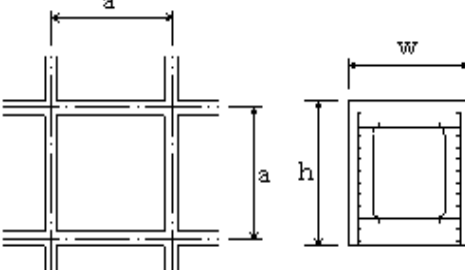
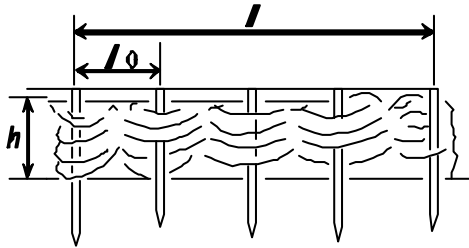
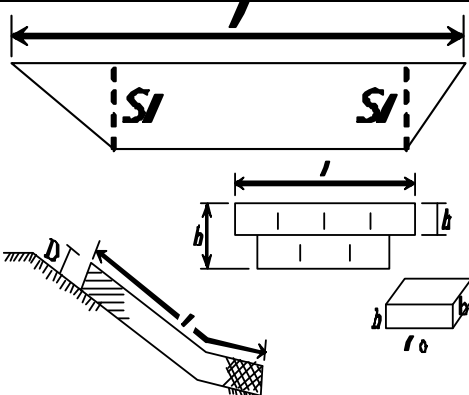
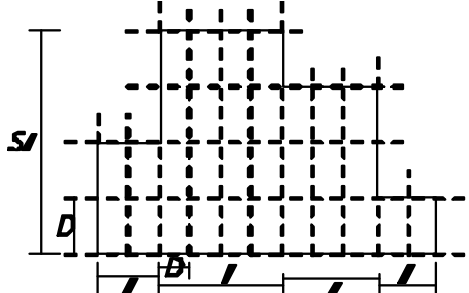
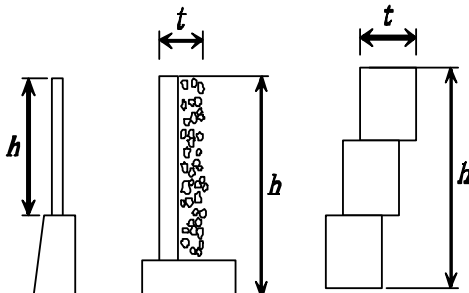
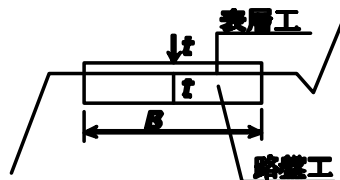


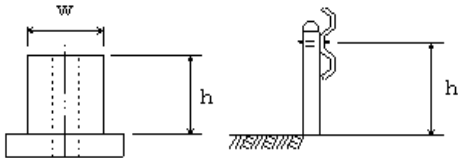
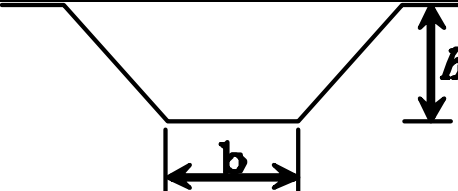
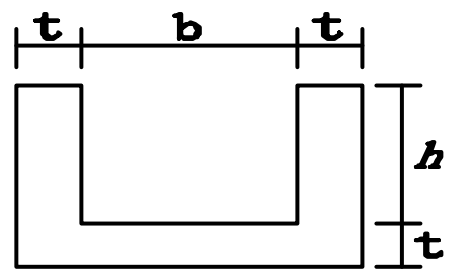
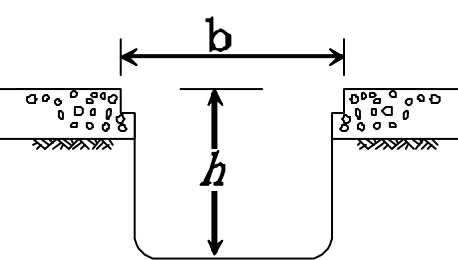
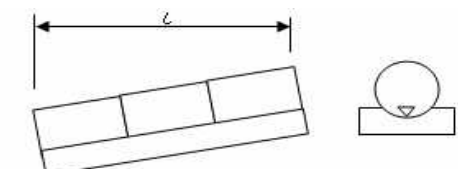
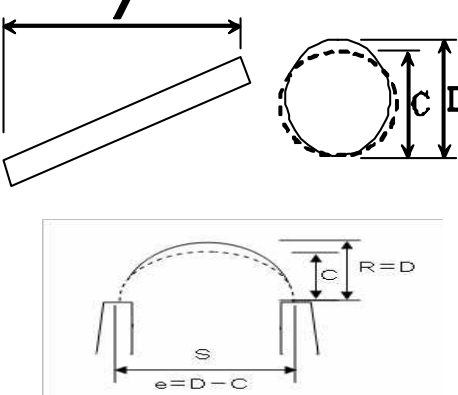
(別表－ 1)

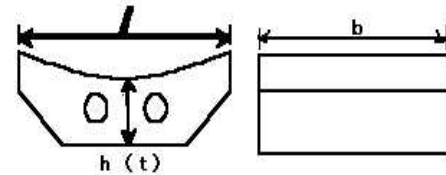
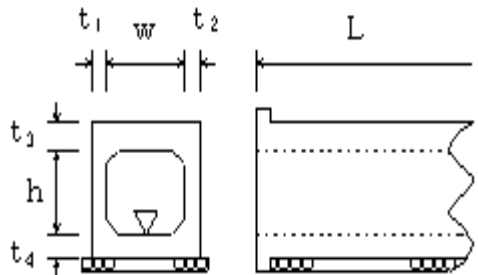
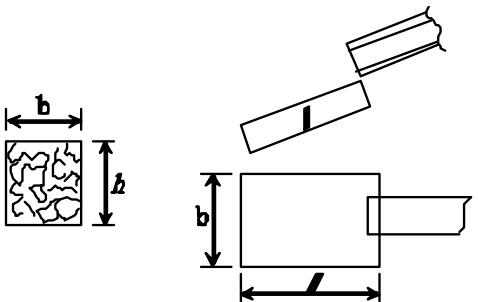
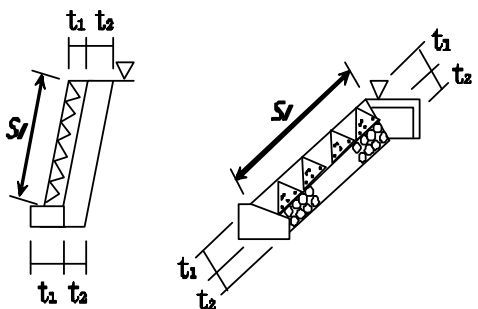
林 道 工 事 検 査 基 準

区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準		摘 要	測定箇所等
路 線 ・ 縦 断	中心線	I . P の位置	全 I . P の10%以上	交角±30′ 以内 コンパス等場合は±1° 以内			
		I . P の距離（L）		L≤40m	±20cm以内		
				L>40m	±0.5%以内		
		T L ・ S L の距離	5箇所以上	±10cm以内			
		測点間の距離		±10cm以内			
		中心線の寄り（e）		±10cm以内			
	施工基面高	施工基面高	1 箇所以上 （1 箇所 5 測点以上）	±10cm以内		余盛は別途加味する。	 特に指定しない限り中心線で測定する。
土 工	切土	幅員（B）	工事延長100m 毎に 1 箇所以上	－10、＋20cm以内		路面の仕上げ状況は、凸凹の程度、根株、転石基岩の露出、切過ぎの場合の埋戻しの状態を確認する。 のり長は、のり勾配又は土質区分の変化点毎に、のり頭、のり尻まで測定する。 仕上げ状況は、凸凹・湾曲の程度、浮石等仕上げの状態を確認する。	
		小段（b）		±10cm以内			
		のり長（Sℓ）		Sℓ<4m	±20cm以内		
				Sℓ≥4m	±5%以内		
		のり勾配（i）		±5厘以内			
		路面の仕上げ状況		通り、すりつけ等なじみよく、不都合がない場合			
		のり面の仕上げ状況		適切と認められる場合			
		土質判定		妥当と認められる場合			
	盛土	幅員（B）	工事延長100m 毎に 1 箇所以上	－10、＋20cm以内		路面の仕上げ状況は、凸凹の程度、転石類の露出、肩下がり、道肩の通り等仕上げの状態を確認する。 仕上げ状況は、凸凹・湾曲の程度、締固め、法尻処理、取り付け部分の処理の状態を確認する。	
		小段（b）		±10cm以内			
		のり長（Sℓ）		Sℓ<4m	±20cm以内		
				Sℓ≥4m	±5%以内		
		のり勾配（i）		±5厘以内			
		路面の仕上げ状況		通り、すりつけ等なじみよく、不都合がない場合			
		のり面の仕上げ状況		適切と認められる場合			
		盛土材料		適切と認められる場合			
	土取場	位置	全測点の10%以上 位置は、全箇所	指定箇所である場合		路面の仕上げ状況は、凸凹の程度、根株、転石基岩の露出、切過ぎの場合の埋戻しの状態を確認する。 のり長は、のり勾配又は土質区分の変化点毎に、のり頭、のり尻まで測定する。 仕上げ状況は、凸凹・湾曲の程度、浮石等仕上げの状態を確認する。	
		測点間の距離		±10cm以内			
		中心線の寄り（e）		±10cm以内			
		幅（B）		－10、＋20cm以内			
		小段（b）		±10cm以内			
		のり長（Sℓ）		Sℓ<4m	±20cm以内		
				Sℓ≥4m	±5%以内		
		のり勾配（i）		±5厘以内			
		路面の仕上げ状況		通り、すりつけ等なじみよく、不都合がない場合			
		のり面の仕上げ状況		適切と認められる場合			
		土質判定		妥当と認められる場合			

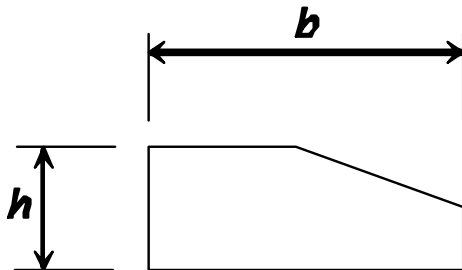
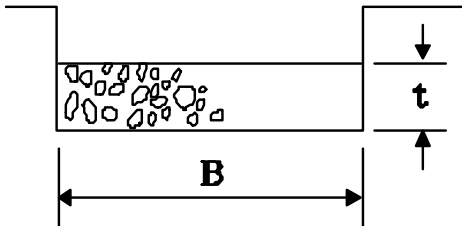
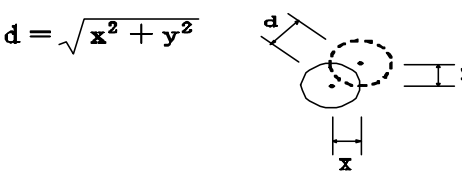
区分	工 種	項 目	検査箇所基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等
土 工	残土処理場	位置	全測点の10%以上 位置は、全箇所	指定箇所である場合	天端面（路面）の仕上げ状況は、 凸凹の程度、転石類の露出、肩下が り、道肩の通り等仕上げの状態を確 認する。 仕上げ状況は、凸凹・湾曲の程度、 締固め、法尻処理、取り付け部分の 処理の状態を確認する。	
		測点間の距離		±10cm以内		
		中心線の寄り（e）		±10cm以内		
		幅員（B）		－10、＋20cm以内		
		小段（b）		±10cm以内		
		のり長（S _ℓ ）		S _ℓ ＜4 m ±20cm以内		
		のり勾配（i）		S _ℓ ≥4 m ±5%以内		
		天端面（路面）の仕上げ状況		±5厘以内		
		のり面の仕上げ状況		通り、すりつけ等なじみよく、不都合がない場合		
				適切と認められる場合		
法 面 工	植生工	区間長（ℓ）	施工面積の20%以上 植被率は、1000m2毎 に1箇所以上	－10cm以内	面積で管理する場合の規格値は、 －2%以内とする。厚層基材又は客 土吹付等の厚さを管理する場合の規 格値は、－30%以内とし、200m2 に1箇所の割合(200m2未満は2箇所 とする。)で測定して、その平均値以 上とする。 植被率は、書面による審査含む。	
		のり長（S _ℓ ）		S _ℓ ＜4 m ±20cm以内		
				S _ℓ ≥4 m ±5%以内		
		植被率		70%以上		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	セメントモルタル、 コンクリート吹付工					
		区間長（ℓ）	施工面積の20%以上 厚さは、200m2毎に 1箇所(200m2未満は 2箇所とする)	－10cm以内	面積で管理する場合の規格値は－ 0%以内とする。吹付面の凹凸が著 しい場合の最小吹付は、設計厚の5 0%以上とする。測定した厚さの平 均値は設計厚以上とする。	
		のり長（S _ℓ ）		－2%以内		
		厚さ（t）		t＜5 cm －1 cm以内		
				t≥5 cm －2 cm以内		
		重さ（w）		－20%以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	法枠工 （現場打・現場吹付）	延長（L）	施工面積の20%以上	－10%以内	中詰の規格値は、－20%以内とし、 その平均値は、設計値以上とする。 枠内吹付の規格値は、植生工、セメ ントモルタル・コンクリート吹付工 を準用する。	
		のり長（S _ℓ ）		－2%以内		
		幅（w）		－3%以内		
		高さ（h）		－3%以内		
		吹付枠中心間隔（a）		±10%以内		
		中詰、枠内吹付		適切と認められる場合		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	法枠工 （プレキャスト）	延長（L）	施工面積の20%以上	－10%以内	中詰の規格値は、－20%以内とし、 その平均値は、設計値以上とする。	
		のり長（S _ℓ ）		－2%以内		
		中詰、枠内吹付		適切と認められる場合		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		

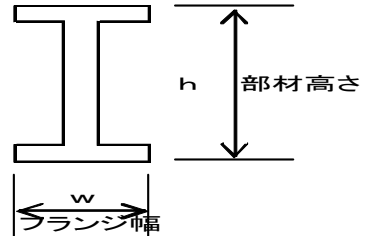
区分	工 種	項 目		検査箇所の基準		合格の基準		摘 要	測定箇所等	
法 面 工	柵工	延長（L）		施工延長の20％以上 杭の末口径は、使用 本数の５％以上	L＜10m	－20cm以内				
		柵高（h）			L≥10m	－２％以内				
		杭の使用本数			－３cm以内					
		杭間隔（ℓ0）			ℓ／ℓ0＋1本以上					
		杭の末口径（D）			＋20cm以内					
		使用材料			－10％以内					
		仕上げ状況			仕様に適合する場合					
					適切と認められる場合					
	鉄線かご かご擁壁 簡易鋼製土留擁壁	布設寸法	延長（L）	施工延長の20％以上 各個の寸法は、全個 数の５％以上	－１％以内		同一段数及び長さの延長が２０m を越える場合は、２０m毎に測定す る。			
			高さ（h）		－５n　n＝段数					
		各個の寸法	長さ（ℓ0）		－５cm以内					
			幅（b）		－５cm以内					
			高さ（h）又は径（D）		－５cm以内					
		使用材料			仕様に適合する場合					
		仕上げ状況			適切と認められる場合					
	落石防護網工	区間長		施工面積の20％以上	ℓ＜10m	－10cm以内				
		のり長（Sℓ）			ℓ≥10m	－１％以内　最大－20cm以内				
		ロープ間隔（D）			－２％以内					
		ロープ間隔（D）			－10cm以内					
		使用材料			仕様に適合する場合					
		仕上げ状況			適切と認められる場合					
	落石防護柵工 鋼製擁壁工	基準高		施工延長の20％以上 基準高は、施工箇所 の20％以上	±５cm以内					
		延長（ℓ）			ℓ＜10m	－５cm以内				
		高さ（h）			ℓ≥10m	－0.5％以内　最大－10cm以内				
		高さ（h）			－５cm以内					
		厚さ（t）			－２cm以内					
使用材料			仕様に適合する場合							
仕上げ状況			適切と認められる場合							
路 盤 工	路盤工	幅（B）		施工延長100mにつ いて１箇所以上	－５cm以内		測定した厚さの平均値は設計厚以 上とする。			
		厚さ（t）			－10％以内					
		使用材料			仕様に適合する場合					
		仕上げ状況			適切と認められる場合					

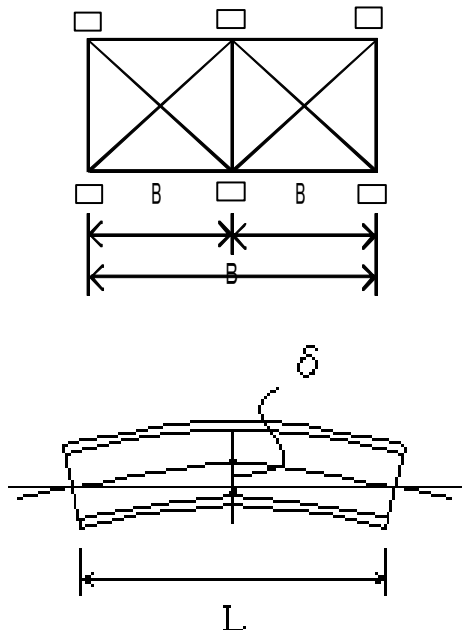
区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等
付 属 物 工	ガードレール ガードケーブル	長さ（ℓ）	ポスト数の20%以上	－0.2%以内		
		取り付け高さ（H）		± 3 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
排 水 施 設 工	側溝工 （素掘） （植生工）	幅（b）	施工延長100m 毎に 1 箇所以上	－ 5 cm以内	施工延長が2 0 mを越える場合は、 2 0 m毎に測定する。	
		高さ（h）		－ 5 cm以内		
		延長（L）		－0.1%以内 最大－20cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	側溝工 横断溝 開きよ （コンクリート）	基準高	b < 700mm	± 5 cm以内		
		幅（b）	施工箇所の50%以上	－ 3 cm以内		
		高さ（h）	b ≥ 700mm	－ 2 cm以内		
		延長（L）	全箇所	－0.1%以内 最大－20cm以内		
		厚さ（t）	基準高は、施工箇所 の20%以上	－ 1 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	横断溝 開きよ （鋼又は合成樹脂製）	基準高	施工箇所の50%以上 基準高は、施工箇所 の20%以上	± 5 cm以内		
		幅（b）		－ 3 cm以内		
		高さ（h）		－ 2 cm以内		
		延長（L）		－0.1%以内 最大－20cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	コンクリート管工 ヒューム管工	基準高	b < 700mm	± 5 cm以内		
		延長（ℓ）	施工箇所の50%以上	－0.1%以内 最大－20cm以内		
		使用材料	b ≥ 700mm	仕様に適合する場合		
		仕上げ状況	全箇所	適切と認められる場合		
	コルゲートパイプ工 合成樹脂管	基準高	D < 2000mm	± 5 cm以内		
		延長（ℓ）	施工箇所の50%以上	－0.1%以内 最大－20cm以内		
		変形量（n）	D ≥ 2000mm	± 5 %以内		
		スパン（s）	全箇所	± 2 %以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		

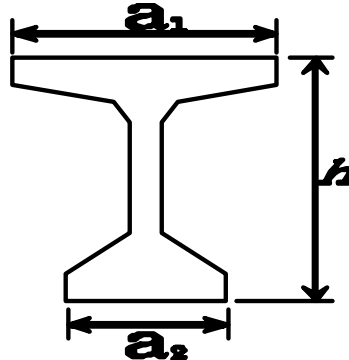
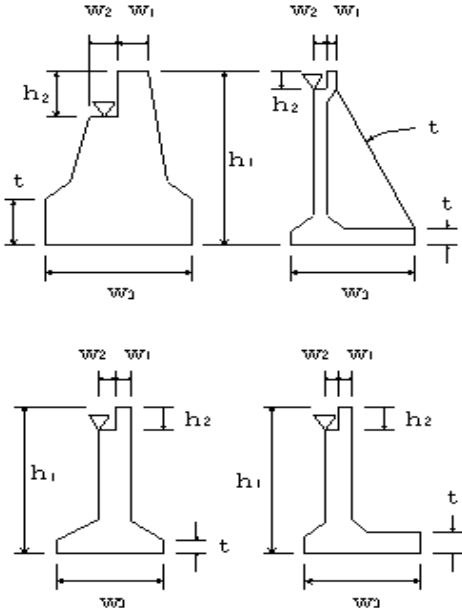
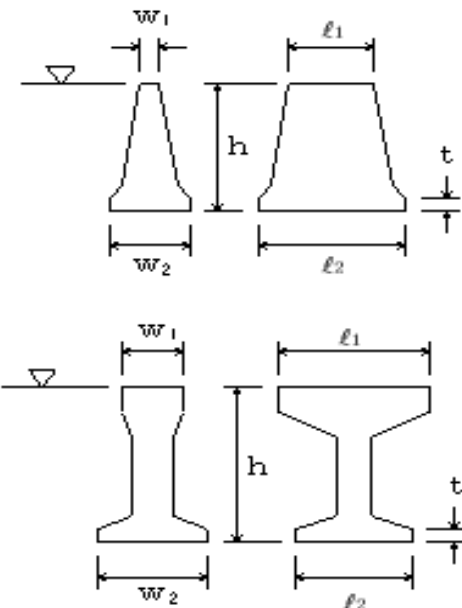
区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等	
排水施設工	洗越工	幅（b）	全箇所	－ 3 cm以内			
		高さ（h）		－ 5 cm以内			
		長さ（ℓ）		－ 20cm以内			
		使用材料		仕様に適合する場合			
		仕上げ状況		適切と認められる場合			
	洗越工 （コンクリート路面）	幅（b）	全箇所	－ 2. 5cm以内			
		コンクリート厚（t）		－ 1 cm以内			
		長さ（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内		
				ℓ ≥ 10m	－ 0. 5%以内 最大－ 10cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合			
	仕上げ状況	適切と認められる場合					
	ボックスカルバート工 （現場打ち）	基準高	全箇所	± 5 cm以内			
		内のり幅（w）		－ 3 cm以内			
		高さ（h）		± 3 cm以内			
		延長（L）		L < 20m	－ 5 cm以内		
				L ≥ 20m	－ 10cm以内		
		厚さ（t）		－ 2 cm以内			
		使用材料		仕様に適合する場合			
	仕上げ状況	適切と認められる場合					
	ボックスカルバート工 （プレキャスト）	基準高	全箇所	± 5 cm以内			
		延長（L）		L < 20m	－ 5 cm以内		
				L ≥ 20m	－ 10cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合			
	仕上げ状況	適切と認められる場合					
	流末工 礫暗きょ	幅（b）	施工箇所の20%以上	－ 5 cm以内			
		高さ（h）		－ 1 cm以内			
		長さ（ℓ）	礫暗きょは、施工管理の記録及び工事写真による。	－ 10cm以内			
		使用材料		仕様に適合する場合			
		仕上げ状況		適切と認められる場合			
擁壁工	コンクリートブロック張又は擁壁 石張工又は石積擁壁 練石張 空石張開きょ	基準高	施工箇所の50%以上 基準高は、必要に応じて実施	± 5 cm以内			
		厚さ		面から裏込（t 1）	－ 2 cm以内		
				裏込め（t 2）	－ 3 cm以内		
		のり長（S ℓ）		－ 5 cm以内			
		のり勾配（i）		± 0. 3分以内			
		延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内		
				ℓ ≥ 10m	－ 0. 5%以内 最大－ 10cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合			
		仕上げ状況		適切と認められる場合			

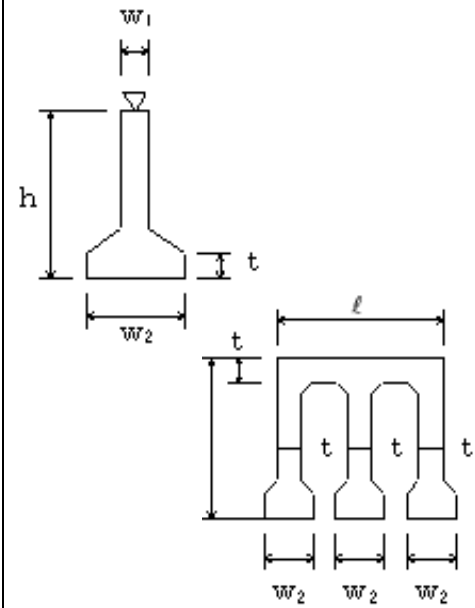
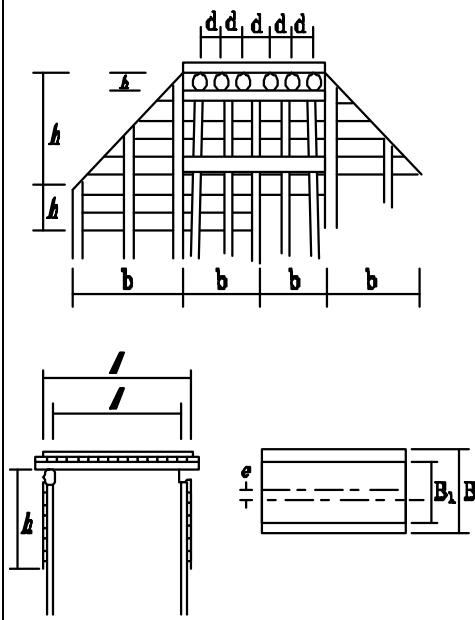
区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準		摘 要	測定箇所等				
擁壁工	コンクリート擁壁工	基準高	施工箇所の50%以上 基準高は、必要に応じて実施	± 5 cm以内							
		幅（b）		b < 1 m	－ 2 cm以内						
				b ≥ 1 m	－ 3 cm以内						
		高さ（h）		h < 2 m	－ 2 cm以内						
				h ≥ 2 m	－ 1 %以内 最大－ 5 cm以内						
		のり勾配（i）		±0.2分以内							
		延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内						
				ℓ ≥ 10m	－0.5%以内 最大－10cm以内						
	使用材料	仕様に適合する場合									
	仕上げ状況	適切と認められる場合									
	プレキャスト擁壁工	基準高	施工箇所の50%以上 基準高は、必要に応じて実施	± 5 cm以内							
		のり勾配（i）		－0.2分、＋ 0 分以内							
		延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内						
				ℓ ≥ 10m	－0.5%以内 最大－10cm以内						
		使用材料		仕様に適合する場合							
		仕上げ状況		適切と認められる場合							
	土のう積工 木製土留工	のり長（S ℓ）	施工箇所の50%以上	－10cm以内							
		のり勾配（i）		－0.5分以内							
		高さ（h）		－10cm以内							
		延長（ℓ）		－10cm以内							
		使用材料		仕様に適合する場合							
		仕上げ状況		適切と認められる場合							
		井桁ブロック土留工		基準高	施工箇所の50%以上 基準高は、必要に応じて実施			± 5 cm以内			
				厚さ（t）				－ 5 cm以内			
	のり長（S ℓ）		S ℓ < 3 m	－ 5 cm以内							
			S ℓ ≥ 3 m	－10cm以内							
	のり勾配（i）		±0.3分以内								
	延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内							
			ℓ ≥ 10m	－0.5%以内 最大－10cm以内							
	使用材料		仕様に適合する場合								
	仕上げ状況	適切と認められる場合									
	補強土壁工	高さ（h）	施工箇所の50%以上	－ 5 cm以内							
		のり勾配（i）		－0.3分以内							
		延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内						
				ℓ ≥ 10m	－0.5%以内 最大－10cm以内						
		使用材料		仕様に適合する場合							
		仕上げ状況		適切と認められる場合							

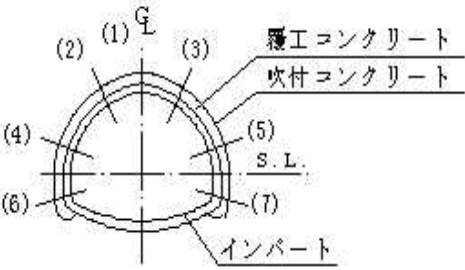
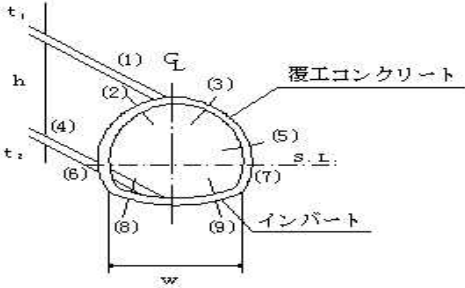
区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等
基礎工	フーチング基礎工	基準高	施工箇所の50%以上 基準高は、必要に応じて実施	± 3 cm以内		
		幅（b）		－ 3 cm以内		
		高さ（h）		－ 3 cm以内		
		延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内	
				ℓ ≥ 10m	－ 0.5%以内 最大－ 10cm以内	
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	置換基礎工 胴木基礎工	幅（B）	施工管理の記録及び 工事写真による。	－ 5 cm以内		
		厚さ（t）		－ 3 cm以内		
		延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内	
				ℓ ≥ 10m	－ 0.5%以内 最大－ 10cm以内	
		使用材料		仕様に適合する場合		
	仕上げ状況	適切と認められる場合				
	杭基礎工	基準高	施工管理の記録及び 工事写真による。	± 5 cm以内		
		杭径（D）		木杭	－ 10%以内	
				その他の杭	設計値以上	
		根入れ長（ℓ）		設計値以上		
				木杭	± 杭径以内	
		偏心量（d）		その他の杭	杭径の± 25%かつ10cm以内	
				木杭	± 5° 以内	
		傾斜角（a）		その他の杭	± 3° 以内	
				使用材料	仕様に適合する場合	
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
矢板工		矢板工		基準高	施工延長の20%以上 基準高は、必要に応じて実施	
	延長（ℓ）		ℓ < 10m	－ 5 cm以内		
			ℓ ≥ 10m	－ 0.5%以内 最大－ 10cm以内		
	中心線のずれ（e）		± 10cm以内			
	傾斜角（θ）		± 1° 以内			
	使用材料		仕様に適合する場合			
	仕上げ状況		適切と認められる場合			

区分	工	種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等		
橋梁工	鋼橋 (仮組立時)	Hげた プレートガーター 箱げた 鋼床版	フランジ幅 (w)	全箇所	w ≤ 1 m	±0.3cm以内			
			w > 1 m		±0.4cm以内				
			部材高 (h)		h ≤ 2 m	±0.4cm以内			
			h > 2 m		0.4cmに2 m又はその端数を増す 毎に1 mmを加えた数値以内。				
			部材長 (ℓ)		ℓ ≤ 10m	±0.3cm以内			
			ℓ > 10m		±0.4cm以内				
			板の 平面度		けたの腹板	h / 250以内 (h : 腹板高)			
					箱げたフランジ及び鋼床版 のデッキプレート	ω / 150以内 (ω : リブ間隔又は腹板間隔 (cm))			
			フランジの直角度 (δ)		w / 200以内				
			使用材料		仕様に適合する場合				
			仕上げ状況		適切と認められる場合				

区分	工 種		項 目		検査箇所の基準		合格の基準		摘 要		測定箇所等	
橋梁工	鋼橋 (仮組立時及び現場組立時) (架設時)	各橋種共通	けた・トラスの中心間距離（B）		全箇所	B ≦ 2 m (B：設計中心間距離)		±0.4cm以内				
			全長・支間長（ℓ）			B > 2 m		± (0.3 + B / 20) cm以内				
			そり（δ）			±（1.0 + ℓ / 100）cm以内						
						ℓ ≦ 20m （ℓ：支間長（cm））		±0.5cm以内				
						20 < ℓ ≦ 40m		－0.5cm以内 ＋1.0cm以内				
						40 < ℓ ≦ 80m		－0.5cm以内 ＋1.5cm以内				
						80 < ℓ ≦ 200m		－0.5cm以内 ＋2.5cm以内				
			伸縮装置	長さ（ℓ）		ℓ ≦ 10m		－0.5cm以内 ＋1.0cm以内			±0.4cm以内	
						ℓ > 10m		－0.5cm以内 ＋ (0.5 + ℓ / 20) cm以内				
						伸縮装置間の高さの差（δ1） フィンガーの食い違い（δ2）		±0.2cm以内				
			使用材料					仕様に適合する場合				
			仕上げ状況					適切と認められる場合				

区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等
橋 梁 工	プレストレストコンクリート橋 (ポステン方式のけた)	上幅 (a 1)	全箇所	−0.5cm以内 + 1 cm以内	上幅、下幅、高さは、けた全数について測定する。けた断面寸法測定箇所は両端部、中央部の3箇所とする。けた長・支間長は、1スパン当たり左右各1箇所測定する。 けた中心間距離は、両支点付近で測定する。	
		下幅 (a 2)		±0.5cm以内		
		高さ (h)		−0.5cm以内 + 1 cm以内		
		けた長・支間長 (i)		±1.5cm以内		
		けた中心間距離		± 2 cm以内		
		横方向最大曲がり (δ)		± (1.5・－6) ×0.1cm以内 (ℓ：支間長)		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	橋台工	基準高	全箇所	± 2 cm以内		
		橋台長 (w)		− 3 cm以内		
		高さ (h)		h < 2 m − 3 cm以内 h ≥ 2 m − 5 cm以内		
		厚さ (t)		− 2 cm以内		
		橋台幅 (B) (橋軸直角又は斜角方向)		B < 1 m − 2 cm以内 B ≥ 1 m − 3 cm以内		
		胸壁前面間又は胸壁前面と橋脚中心間の距離 (ℓ)		± (1 + ℓ / 20) cm以内 最大± 5 cm以内		
		橋軸の偏心量 (e)		± 5 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	橋脚工 (張出式) (重力式) (半重力式)	基準高	全箇所	± 2 cm以内		
		橋脚長 (w) (橋軸方向)		w < 1 m − 2 cm以内 w ≥ 1 m − 3 cm以内		
		高さ (h)		h < 2 m − 3 cm以内 h ≥ 2 m − 5 cm以内		
		厚さ (t)		− 2 cm以内		
		橋脚幅 (ℓ) (橋軸直角又は斜角方向)		ℓ < 1 m − 2 cm以内 ℓ ≥ 1 m − 3 cm以内		
		橋脚中心間の距離 (L)		± (1 + L / 20) cm以内 最大± 5 cm以内		
		橋軸の偏心量 (e)		± 5 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		

区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等	
橋 梁 工	橋脚工 (ラーメン式)	基準高	全箇所	± 2 cm以内			
		橋脚長 (w) (橋軸方向)		w < 1 m	－ 2 cm以内		
				w ≥ 1 m	－ 3 cm以内		
		高さ (h)		h < 2 m	－ 3 cm以内		
				h ≥ 2 m	－ 5 cm以内		
		厚さ (t)		－ 2 cm以内			
		橋脚幅 (ℓ) (橋軸直角又は斜角方向)		ℓ < 1 m	－ 2 cm以内		
				ℓ ≥ 1 m	－ 3 cm以内		
		橋脚中心間の距離 (L)		± (1 + L / 20) cm以内 最大± 5 cm以内			
		橋軸の偏心量 (e)		± 5 cm以内			
		使用材料		仕様に適合する場合			
		仕上げ状況		適切と認められる場合			
	木造橋 (上下部構造)	基準高	全箇所	± 10cm以内			
		全幅 (B)・全幅員 (B1)		± 5 cm以内			
橋長・支間長 (ℓ)		± 5 cm以内					
けた中心間距離 (d)		± 3 cm以内					
橋台土留め		－ 5 cm以内					
幅 (t)		－ 3 cm以内					
(橋軸直角又は斜角方向) 高さ(h)		± 5 cm以内					
加工部材長さ		± 10cm以内					
橋軸の偏心量 (e)		仕様に適合する場合					
使用材料		適切と認められる場合					
仕上げ状況							

区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等
トンネル工	トンネル (N A T M)	基準高（拱頂）	全箇所	± 5 cm以内		
		幅（全幅）（B）		－ 5 cm以内		
		高さ（内のり）（h）		－ 5 cm以内		
		中心線の偏心量		± 100cm以内		
		直線部		± 150cm以内		
		曲線部		設計数値以上		
		厚さ（t）		－ 10cm以内		
		延長（L）		仕様に適合する場合		
		使用材料		適切と認められる場合		
		仕上げ状況				
トンネル工	トンネル (矢板)	基準高（拱頂）	全箇所	± 5 cm以内		
		幅（全幅）（B）		－ 7 cm以内		
		高さ（内のり）（h）		－ 7 cm以内		
		中心線の偏心量		± 100cm以内		
		直線部		± 150cm以内		
		曲線部		－ 5 cm以内		
		厚さ（t）		－ 10cm以内		
		延長（L）		仕様に適合する場合		
		使用材料		適切と認められる場合		
		仕上げ状況				

区分	工 種	項 目	検査箇所の基準	合格の基準	摘 要	測定箇所等
舗 装 工	下層路盤工	幅	施工管理の記録及び 工事写真による。	－ 5 cm以内		
		厚さ		－ 4. 5cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	粒度調整路盤工	幅	施工管理の記録及び 工事写真による。	－ 5 cm以内		
		厚さ		－ 4. 5cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	セメント安定処理路盤工	幅	施工管理の記録及び 工事写真による。	－ 5 cm以内		
		厚さ		－ 3 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	石灰安定処理路盤工	幅	施工管理の記録及び 工事写真による。	－ 5 cm以内		
		厚さ		－ 3 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	瀝青安定処理路盤工	幅	施工管理の記録及び 工事写真による。	－ 5 cm以内		
		厚さ		－ 2 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	アスファルト舗装工	幅	40m 毎に 1 箇所以上	－ 2. 5cm以内	厚さは 1 工事10箇所の割合で測定 し、各測定値は規格値を満たすほか、 10箇所の測定値の平均は－0. 3cm以内 とする。	
		厚さ		－ 0. 9cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	コンクリート舗装工	幅	40m 毎に 1 箇所以上	－ 2. 5cm以内	厚さは 1 工事10箇所の割合で測定 し、各測定値は規格値を満たすほか、 10箇所の測定値の平均は－0. 3cm以内 とする。	
		厚さ		－ 1 cm以内		
		使用材料		仕様に適合する場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
維 持 修 繕 工	現道補修	施工区域	施工箇所の50%以上	指定区域を実施している場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	除草工	施工区域	施工箇所の50%以上 (1 箇所 5 点以上)	指定どおり施工されている場合		
		刈幅		5 点の平均値が指定刈幅以上の場合		
		仕上げ状況		適切と認められる場合		
	側溝等清掃工 集水桝清掃工	仕上げ状況	施工箇所の20%以上	適切と認められる場合		